

研究・調査報告書

報告書番号	担当
4	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Suicide attempt, smoking, comorbid depression, and platelet serotonin in alcohol dependence. アルコール依存症における、自殺企図、喫煙、併存うつ病、および血小板セロトニン	
執筆者	
Nenadic-Sviglin K, Nedic G, Nikolac M, Kozaric-Kovacic D, Stipcevic T, Muck Seler D, Pivac N.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Alcohol. 2011 May;45(3):209-16.	
キーワード	
アルコール依存症; 併存うつ病; 男性・女性; 血小板セロトニン濃度; 喫煙; 自殺企図	
要 旨	
<p>うつ病との合併により、アルコール依存症患者における自殺の危険性が増すことが知られている。アルコール依存症と自殺行動は、いずれもセロトニン (5-ヒドロキシトリプタミン[5-HT]) 機能低下に関連している。自殺は、世界的に大きな公衆衛生上の問題であり、自殺企図を防ぐために、関連する血中マーカーを見つけることが重要である。本研究の目的は、アルコール依存症患者で血小板 5-HT 濃度が自殺企図の有無により異なるかどうかについて検討することである。</p> <p>民族的に均質であり、薬物治療を受けていないアルコール依存症患者 (男性 397 名、女性 108 名) において、血小板 5-HT の濃度を測定した。喫煙状況・併存うつ病・過去の自殺企図の有無により分けたサブグループ分析も実施した。また、健常対照(男性 450 名、女性 139 名)においても測定を行った。</p> <p>自殺企図は、2つの測定方法により評価した (うつ病のハミルトン評価尺度における項目 3 からスコア 4、および自殺企図歴についての構造化臨床面接)。</p> <p>非喫煙者の場合、アルコール依存症患者の血小板 5-HT 濃度は、男女とも健常者より有意に低値であった。多変量分散分析において、アルコール依存症と喫煙が血小板 5-HT 濃度と有意に関連していた。一方、自殺企図歴・性別・併存うつ病との間に有意な関連は認められなかった。各要因間にも有意な交互作用は認められなかった。アルコール依存症患者における血小板 5-HT 濃度には、自殺企図歴の有無による有意な差は認められなかった。</p> <p>アルコール依存症患者において、自殺企図歴の有無によらず、血小板 5-HT 値は同様であった。本研究結果は、アルコール依存症における自殺企図の血中マーカーとしての血小板 5-HT 濃度の有用性に関する仮説を支持するものではなかった。</p>	